

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくら棟高		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年 2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年 2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ワンフロアでなく、部屋数がある イレでの同性介助ができる 供たちが安全に活動ができる部屋になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ト 子 不要な声掛けせず、関わりすぎない それぞれの部屋の場所の構造化や環境の構造化 支援終了時にLINEや口頭で利用者の様子などを共有している スケジュール提示など見やすく使いやすい工夫 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ間での共通理解
2	<ul style="list-style-type: none"> 構造化による支援 覚支援、見通しつくスケジュール提示、個別支援など、利用者にあった支援 	<ul style="list-style-type: none"> 視 環境設定 個々に合った提示する量やタイミング 	
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 送迎など特定のスタッフに負担が大きい。 事業所によって支援の仕方が少し違うことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 勤務時間を考慮した送迎範囲 	<ul style="list-style-type: none"> SNSや口頭で指導してくれる環境ができている 定期的な研修
2	<ul style="list-style-type: none"> 地域との交流する機会が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民や子ども同士で交流する機会が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 公園や児童館へ外出する機会はあるが、地域の方との関わりを広げる支援まで十分に行えていないのが現状。まずは顔見知りの同世代との関わりを支援している ボランティアの受け入れも検討していきたい
3	<ul style="list-style-type: none"> 各マニュアルの周知・説明不足 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者説明の時間を十分に確保できていない 	<ul style="list-style-type: none"> 新規契約時、面接時に各マニュアルの周知・説明する機会を確保していく